



# 2月号

編集・発行 栃木県企画部広報課

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20

TEL 028-623-2192 FAX 028-623-2160

とちぎ

# 県民だより

## 「県政モニター」活動中！ 皆さんの声を活かします

昨年五月、「県政モニター制度」がスタートしました。この制度は、県民の皆さんの県政に対する意見や提案、評価などを継続的に聴き、これを県政に反映することで県民参加による開かれた県政をすすめていくものです。県政モニターは、県内にお住まいの二百名の皆さんにお願いしています。アンケートへの協力のほか、日頃感じていることや気づいた点などについて提案もいただいています。

モニターの皆さんのこれまでの活動状況をお知らせしましょう。

### モニターの声で施策を評価

新世紀と同時にスタートした「とちぎ21世紀プラン（県総合計画）」、栃木県のさらなる発展のための基本計画です。県では、計画をすすめるにあたって、計画の目標達成度を検証し、施策の見直しを行う評価制度を取り入れています。この評価制度に県政モニターの声が反映されています。モニター

### 建設的なご提案も

モニターの皆さんには、県政に関する様々な資料をお送りし、本県の現状や課題などについて理解を

深めていただいています。モニターの皆さんからは、様々な立場に立った具体的、建設的なご意見やご提案が寄せられています。これまでに教育や少子化対策などを中心に百七十九通（一月末現在）の提案をいただきました。こうした提案は知事が読まさせていただきます。ただくとともに、業務を進める上での貴重な意見として役立っています。

四月から活動いただく県政モニターを募集します。よりよい郷土「とちぎ」をつくるために、皆さんの声を県政に届けてください。ご応募お待ちしております。



昨年5月の委嘱式。今年4月下旬を予定しています



### 県政モニターを募集します

#### ★活動内容

- 年3～4回程度、県で願うアンケート調査に回答していただけます。アンケートに回答いただいた場合、謝礼を差しあげます。
- 県政に関するご意見、ご提案を随時提出していただけます。なお、ご意見をいただくにあたり参考として、県政に関する資料を定期的にお送りします。

#### ★応募資格

県内在住の満20歳以上の方。ただし、国・地方公共団体の議会議員や常勤の公務員は応募できません。

#### ★活動期間

2年間（平成14年4月から平成16年3月末日）

#### ★募集人数

100名（定員200名の半数を）毎年改選しています。応募多数の場合は、地域・年齢・性別などを考慮のうえ選考し、結果を全員に通知します。

#### ★募集締切

平成14年3月5日（火）（当日消印有効）

#### ★応募方法

ハガキ、FAX、電子メールで、次の①～⑧の事項を記載してお送りください。

〈県政モニター希望〉

- ①郵便番号
- ②住所
- ③氏名（フリガナ）
- ④性別 ⑤生年月日
- ⑥職業 ⑦電話番号
- ⑧県政モニターへの応募動機（100～200字程度）

#### 応募・問合せ先

〒320-8501（住所不要） 栃木県広報課 県政モニター募集係  
☎028-623-2158 FAX028-623-2160  
電子メール:kocho@pref.tochigi.jp

今、私たちの暮らす社会は、廃棄物の増加や地球の温暖化など、様々な環境問題に直面しています。

こうした環境問題の解決には、私たち一人ひとりが生活を見直し、エネルギーや資源をむだに使わないなど、環境にやさしいライフスタイルへと変えていくことが必要です。

そのためには、環境問題についてもっと理解を深め、自ら環境にやさしい行動をとれるようになるための環境学習が重要です。

県では、「栃木県環境学習推進指針」を策定し、市町村や関係機関と連携を図りながら、県民の皆さんの環境学習を応援しています。

# 地球にいいことはじめましよう

## 応援します！

### あなたも環境学習を地域で学習会を開こう

環境に関心を持ち、地域で積極的に学習活動に取り組む方が増えてきています。一月十七日、黒磯市厚崎公民館で、「環境にやさしい暮らし方」というテーマで環境学習会が開催され

直すきっかけとなりました。

県では、自治会やPTA、趣味の会などで開催する環境学習会へ指導者を派遣し、県民の皆さんの

自主的な学習活動を応援しています。水、大気、ゴミの減量、リサイクルなど各分野の専門家が環境学習をお手伝いします。

### 環境学習を子どもたちに

#### 矢板市子ども環境会議

幼少期から環境を大切にする心を育くむために、学校教育の場で環境問題が取り上げられる機会を増えています。

矢板市では、平成六年から「矢板市子ども環境会議」を毎年開催しています。市内の各小・中学校



それぞれの活動をパネルにして発表(平成12年度)

県では、総合的、効果的な環境学習を進めるために、「環境学習プログラム」を作成しています。今年度は「幼児小学校編」を作成し、県内の小学校や幼稚園等に配布する予定です。

子どもたちが取り組んでいるゴミの減量や環境保全活動などの実践をお互いが発表しあい、議論しながらリサイクルの大切さなどを学びあっているものです。市教育委員会の担当者は、「環境について地球規模で考え、足元から行動ができるきっかけになってほしい」と、この会議に大きな期待を寄せています。



総合教育センターで環境学習プログラムを検討する編集メンバー(小学校教員・幼稚園関係者)

### 子どもエコクラブ

「子どもエコクラブ」は、生き物調査やリサイクル活動などを、楽しみながら学び実践するクラブ活動。環境省が全国で実施しているものです。県内では現在、七十四クラブ、約千四百人の子どもたちが活動しています。

その中のひとつ、河内町立岡本北小学校の五年生で結成された「ずらんクラブ」を訪ねました。「ずらんクラブ」の子どもたちは、給食のゴミから堆肥をつくったり、家庭の不要品を集めてフリーマーケットに出店したりと、自分たちで考え話し合いながらそれぞれの活動を実践してきています。フリー

マーケットに参加した子どもたちは「いらぬものが売れてびっくり。これから使えるものは捨てないようになりたい」と、感想を話してくれました。

県では、子どもエコクラブでがんばる子どもたちを応援するため、毎年「壁新聞コンテスト」を開催しています。壁新聞は子どもたちが自らの活動内容をまとめたもの。今年一月に開催したコンテストには二十五の作品が集まりました。審査員は「どの作品からも子どもたちの生き生きとした活動の様子が伝わってきます」と、高く評価しています。



フリーマーケットの売上げはコンポスト(生ゴミを堆肥にするための容器)と野菜の種の購入資金に

### 学習から実践へ

#### 一人ひとりの行動が大切です

環境学習のねらいは、一人でも多くの県民の皆さんに、環境にやさしい生活(エコライフ)を自ら実践していただくことにあります。その実践の輪を全県民へと広げていくことが、環境問題解決への近

みんなんで取り組むことが大切です」と話します。

皆さんも、自分に何ができるかを考え、学び、そして実行してみませんか。私たちの生活、そして「どらぎ」の豊かな環境を守るた



壁新聞コンテスト 応募作品はどれも力作ぞろい

TOPICS



巨大なケーキが来場者400名にプレゼントされました

**本県産のいちごをアピール**  
 本県産のいちごの販売額が、七年連続で日本一となりました。とちぎのいちごの実力を広く知っていただくようと、一月十四日から一か月間「いちご大好きまつり」が行われました。宇都宮市のオリオン通りで開催されたオープニングイベントでは、いちごを使ったお菓子コンテストやカクテルフェアなど、様々な楽しい催しが行われました。また、期間中は県内各地で、いちごを使った料理のスタンプラリーなどが行われました。  
 ◇問合せ 県経済流通課  
 TEL 028-623-2298

本県産のいちごを  
アピール

環境学習を

ました。参加者は近隣地域に住む約二十人。講座では、環境にやさしい商品の意識的な購入やマイバックを持参し、レジ袋を断ることなど、すぐに実践できる活動例が紹介されました。「私にもできることがたくさんあることに気づかされた。できることから始めてみようと思う」と、参加者が生活スタイルを見直すきっかけ



4人のパネリストの提言に、参加者も熱心に耳を傾けました

新交通シンポジウムの開催

一月十九日、宇都宮市の県総合文化センターで「新交通『LRTを活かしたまちづくり』シンポジウム」が開催されました。LRT（次世代路面電車）は、人と環境にやさしい新たな公共交通システムとして、県内でも導入が検討されています。当日は約五百名が参加。基調講演に続き、パネルディスカッションが行われ、LRTの利点や二十一世紀の都市交通のあり方を考えました。  
 ◇問合せ 県交通対策課  
 TEL 028-623-2187



課題劇「かしこい消費者になろう」を熱演し、実践の大切さをアピール

「マイ・チャレンジ」成果を発表

平成十二年度から「心の教育」の一環として行われた「マイ・チャレンジ推進事業」。中学二年生が学校を離れ、様々な社会体験活動を通して、地域の人々と交流する事業です。一月二十八日、事業の円滑な推進や普及を図るために県教育会館で「マイ・チャレンジ推進フォーラム」が行われました。今年度のパイロット校九校を代表し、壬生中学校が活動の様子や成果などを発表しました。  
 ◇問合せ 県義務教育課  
 TEL 028-623-3392



「マイ・チャレンジ」活動のようす写真は、パン店で勤労体験する壬生中の生徒



参加者全員で熱心に意見交換

道だと考えるからです。県内では、自らエコライフを実践する人たちのネットワークが活動を始めています。二年前に結成された『エコライフネットワーク「とちぎ」』では、個人、市民団体、企業、行政など幅広い立場の会員が一体となってエコライフの普及活動を進めています。代表の大内さんは、「エコライフの実践は誰にでも簡単にできることです。例えば、水道の水を出しっぱなしにしないなど、小さなことですが、

◇問合せ 県環境管理課  
 TEL 028-623-3186

4/1から 精神障害者の福祉の窓口が市町村へ移ります

精神障害者の皆さんが、地域社会の中で自立して生活し社会復帰をしていくために、より身近な、よりきめ細かな支援が求められています。

こうしたことから、平成11年6月に精神保健福祉法が改正され、今年4月から、これまで県が中心となってきた福祉サービスのうち次の業務は市町村が実施することとなりました。

4月から市町村が行う業務

- 精神障害者保健福祉手帳の申請窓口
- 通院医療費公費負担の申請窓口
- 社会復帰に向けた施設や在宅福祉サービスの利用に係る相談など

精神障害者に生活指導や自立への訓練を行う精神障害者社会復帰施設、在宅福祉サービス(ホームヘルプサービス、ショートステイ、グループホーム)に関する相談、利用のあっせん

●在宅福祉サービスの提供

**ホームヘルプサービス** 精神障害のために日常生活を営むことが困難な場合、ホームヘルパーが伺い、掃除や洗濯、食事などの家事援助や身体の介護、身の回りのことなどの相談を行います。  
**ショートステイ** 冠婚葬祭などの事情で家族が不在で不安なときなどに、短期間安心して生活できる場を提供します。  
**グループホーム** 世話人による食事の世話などの日常生活の支援を受けて、精神障害者が地域で共同生活を送る場所を提供します。

引き続き、県も支援します

- こころの健康やアルコール、思春期、痴呆、診療の相談、訪問指導などを行います。
- 広域的なサービス提供体制の整備やサービスの利用についての調整を行います。
- 医療機関や社会復帰施設等の指導などを行います。

※なお、こうした業務は健康福祉センターで行います。

◇問合せ 県健康増進課 ☎028-623-3093

# マロニエト ガ イト



## 花 歳 時 記

### ツバキ (ツバキ科)

冬の花の代表といえば椿。花言葉は「目だため優越」。「厚葉木(つばき)」の由来となる光沢のある厚い葉の奥から、恥ずかしそうに真っ赤な顔をのぞかせます。美しい姿のまま、深く樹下にこぼれる様もまた一興です。

### ウォッチングポイント

南那須町「議会の森つばき園」や佐野市「出流原の日の出椿」は一見の価値あり。今が見頃です。

## 県子ども総合科学館

宇都宮市西川田町567 ☎028-659-5555

- 科学館プレタイム 毎月第2・4土曜日①午前10時～正午②午後1時～4時 ●ゲームや工作をして遊びます ●2月のプログラム「リングリングじゃんけん」 ●3月のプログラム「ドタバタキッチン」 ●天体観望会 ●2月16日(土)午後7時～9時 ●土星・木星・プレアデス星団M45など ●バラエティーサイエンス ●2月23日(土)・24日(日) ①午前10時30分②午後1時30分③午後3時30分 ●簡単に楽しい工作を行います ●プラネタリウム新番組「五郎の星(年少向け)」、「星に名前をつけよう(一般向け)」 ●いずれも3月9日(土)から

## 県立美術館

宇都宮市桜4-2-7 ☎028-621-3566

- 川島理一郎展 ●3月24日(日)まで ●60年間に及ぶ自由闊達な川島の画業を油絵、水彩、素描など130点により回顧します ●関連講演会「蘭への招待」 ●3月3日(日)午後2時～ ●講師 塚谷裕一氏(植物学者)



1川島理一郎 2理一郎 5年 個人蔵の図

## 県立博物館

宇都宮市睦町2-2 ☎028-634-1312

- テーマ展「よそおい」 ●2月17日(日)から ●展示解説 ●2月21日(木) ●電話申込み



おはぐろ筆と壺

- 講座「旧石器時代の自然環境・人々の暮らし」 ●3月3日・10日(いずれも日曜日)全2回 ●電話申込み ●体験学習「お雛様を作ろう」 ●2月24日(日)

## 県総合文化センター

宇都宮市本町1-8 ☎028-643-1010

- 錦織健プロデュースオペラ「コシ・ファン・トゥッテ～恋人たちの学校～」 ●2月24日(日)午後3時開演



コシ・ファン・トゥッテ 恋人たちの学校

- モナコ公国モンテカルロ・パレエ「シンデレラ」 ●2月28日(木)午後6時30分開演

## お知らせ

# Information

## 募 集

### ●とちぎの道づくり懇談会委員の募集

●今後の道づくりのあり方、基本方針に対し提言をいただく委員の一部を公募します ●募集人員 2名 ●応募資格 県内に在住の方で、4月1日現在、満20歳以上70歳未満の方(公務員は除きます) ●応募方法 次の2つの書類を郵便、FAX、Eメールでお送りください①住所、氏名、生年月日、年齢、性別、職業、電話番号を記載した②作文「とちぎの道づくりに対する私の提言・意見」(800字程度) ●応募締切 2月28日(木)消印有効 ●あて先・問合せ 県道路建設課(宇都宮市埴田1-1-20)☎028-623-2408、FAX028-623-2417、Eメールdouken@pref.tochigi.jp

### ●栃木県老人保健福祉計画等策定懇談会委員の募集

●高齢者に関する総合的な施策に対し提言をいただく委員の一部を公募します ●募集人員 3名 ●応募資格 県内に在住の方で、高齢者に関する問題に関心のある方 ●応募方法 次の2つの書類を郵便、FAX、Eメールでお送りください①住所、氏名、生年月日、年齢、性別、職業、勤務先、電話番号及び高齢者問題に関する活動の実績等がある場合はその概要を記載したもの②作文「これからの高齢対策について」(800字以内) ●応募締切 3月15日(金)消印有効 ●あて先・問合せ 県高齢対策課(宇都宮市埴田1-1-20)☎028-623-3037、FAX028-623-3925、Eメールkaigo@pref.tochigi.jp

### ●県高等産業技術学校

●離転職者向け職業訓練入校生募集 ●対象 現在求職活動中の方 ●募集校・学科

は次のとおりです ●問合せは各校へ  
【県央校(宇都宮市)☎028-689-6380】  
※インテリアビジネス科、NC機械科  
【県北校(那須町)☎0287-64-5454】  
※電気工事科  
【県南校(足利市)☎0284-91-0803】  
※金属加工科、洋裁科、OAビジネス科

### ●「再就職合同面接会」参加企業募集

●40歳以上の求職者を対象とする面接会を開催します ●面接会日時・会場 3月14日(木)午後1時～4時・宇都宮グランドホテル ●面接会に参加する、中途採用予定のある企業を募集しています ●2月28日(木)までに最寄りの公共職業安定所へ申し込みください ●問合せ 県労政課 ☎028-623-3224

### ●とちぎ健康づくりセンターの健康度測定受検者募集

●実施日 毎週月～金曜日 ●内容 負荷心電図検査などの医学的検査や体力測定を行い、その結果に基づき、一人ひとりの健康状態に応じた健康づくりのアドバイスや健康増進プログラムを提供します ●受検料 12,000円 ●問合せ (財)栃木県保健衛生事業団健康度測定課(とちぎ健康の森内)☎028-623-5555

## 催 し

### ●北東地域首都機能移転実現 総決起大会

●北東地域への首都機能移転実現を広く全国にアピールします ●日時 2月22日(金)午後1時～3時10分 ●場所 赤坂プリンスホテル(東京都千代田区) ●内容 特別講演「首都機能は北東へ」川勝平太氏(国際日本文化研究センター教授)ほか ●参加無料 ●申込み 電話、ハガキ、FAX、Eメールで住所、氏名、電話番号をお知らせください ●あて先・問合せ 県企画調整課(宇都宮市埴田1-1-20)☎028-623-3496、FAX028-650-2045、Eメールnewcapital@pref.tochigi.jp

### ●骨髄バンク支援栃木県民の集い

●2月24日(日)午後1時～4時 ●会場 白鷗大学(小山市) ●内容 映画「いのちのあさがお」、講演「いのちの贈り物」、あったトーク「大谷貴子と愉快で優しい仲間たち」 ●参加無料 ●同日午前10時から、同会場で骨髄バンク集団登録を実施します ●骨髄バンクへ登録いただける方は必ず事前に電話で県南健康福祉センター(☎0285-22-1219)までご連絡ください ●問合せ 県業務課 ☎028-623-3119

### ●サンキュー(3/9)リハビリテーション～きて・みて・ふれる市民のつどい～

●3月9日(土)午前10時～午後4時30分 ●場所 宇都宮市文化会館、明保野体育館(宇都宮市) ●内容 講演「高齢者の介護はこうして～誰でもできるリハの知識と技術」、座談会「できたらいいなこんな街づくり」、介助犬の実演、介護実演など ●参加無料 ●問合せ とちぎリハビリテーションセンター ☎028-623-6101

### ●パルティ国際映画祭'02

●映画を通して、世界と女性について考えます ●日時 3月6日(水)①午後2時～スペイン映画「オール アバウト マイ マザー」②午後4時10分～日本映画「百合祭」③午後7時～フランス・ヴェトナム映画「夏至」 ●鑑賞券800円(1作品)、ペア鑑賞券(1作品・コーヒー券付き)1,500円、フリー鑑賞券(3作品・コーヒー券付き)2,000円 ●パルティ、各プレイガイドで発売中 ●問合せ 同センター(宇都宮市野沢町)☎028-665-7706

## 案 内

### ●所得税の申告はお早めに!

●平成13年分の所得税の確定申告期間は、2月16日(土)から3月15日(金)までです。なお、土・日閉庁のため、窓口受付は2月18日(月)からはじまります ●申告書は自分で作成し、郵送等で提出してください ●宇都宮税務署(☎028-621-2151)と栃木税務署(☎0282-22-0885)では、

相談会場を設置するため駐車場が利用できません。できるだけ郵送で提出してください ●問合せ 最寄りの税務署へ

## 県の広報番組 とちぎテレビ

クロースアップ 毎週土曜日 9:00～9:30 (再)月曜日 22:00～22:30

- 2月16日 下水道あなたと水をむすぶ道
- 23日 悪質商法の被害未然防止
- 3月2日 かかりつけ薬局をもちましよう
- 9日 特別表示食品Eマーク

アワー 毎週日曜日 18:05～18:30 (再)月曜日 12:05～12:30

- 2月17日 こどもエコクラブに集まれ!
- 24日 鉄道警察隊の活動
- 3月3日 Jr.知事さん他
- 10日 親子ことはじめ～しつけ入門～

とちぎ情報局 毎週木曜日 22:00～22:45 (再)日曜日 8:30～9:15

- 【わがまち発見伝】
- 2月21日 真岡鐵道沿線レポート(二宮～茂木)
- 28日 動く合唱、シアターピース(宇都宮)
- 3月7日 歴史をみつめるお雛様(宇都宮)
- 14日 下野一栃木 人のいとみな(県内各地)

- 「とちぎ情報局」公開収録のお知らせ
- ～みんなでジャンプフェスティバルを開催します～
- どなたでも観覧できます
- 日時 3月10日(日)正午～
- 場所 県立県南体育館(小山市) ●観覧無料

◎問合せ 県広報課 ☎028-623-2190

## より一層の地方分権の実現を目指して

県では、地方分権を一層推進していくため、市町村の自主性を生かした施策の展開や県民サービスの一層の向上が図られるよう、積極的に市町村への権限委譲を進めています。権限委譲にあたっては、全市町村一律の委譲だけでなく、個別市町村への委譲など弾力的に対応しています。

今年4月から、5法令16項目の事務を新たに県から市町村に委譲します。これに伴い、右の事務については手続きの窓口が県から当該市町村に変わりますのでご注意ください。

◇問合せ 県行政システム改革室 ☎028-623-2225

※個々の事務の具体的な内容などについては、県または市町村の所管課にお問い合わせください

## 4月以降県から市町村に窓口が変わる主な事務

- ①高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律(ハートビル法)に係る事務
  - ・特定建築物の設計・施工に関し必要な指導及び助言等を行う事務 など
- ②栃木県ひとにやさしいまちづくり条例に係る事務
  - ・特定施設の新築等に係る届出の受理 など
- ③栃木県建築基準条例に係る事務
  - ・建築物に係る道路、敷地、設備等の制限規定に関する認定
  - ※①～③を委譲する市町村 栃木市、鹿沼市
- ④国土交通省所管の国有財産及び公共用財産に係る事務
  - ・都市計画法第32条第1項に基づく公共施設の管理者の同意
  - ※委譲する市町村 足尾町、栗山村、小川町、湯津上村、黒羽町

3月末日まで、①～③は県建築課(☎028-623-2513)、④は県用地課(☎028-623-2496)において所管しています

## 夕暮れ時 みんなで 早めに ライトアップ!

夕暮れ時の交通事故が多発しています。日没30分前には、ヘッドライトを点灯し、交通事故を防ぎましょう。

### 「ヘッドライト早め点灯運動」推進中!

◇問合せ 県交通対策課 ☎028-623-2183

